

ページ

だけの方、お子さんのス
話題を募集しています！
課まで。

4月になり、桜の便りが聞かれるよ
うになりました。真新しいランドセル
を背負った子どもたちも目を引く事で
しょう。何かと事件の多いこの時代、
温かく見守りたいものですね。

◎前回の答え（3／1）と当選者

問1－③古だるま 問2－②危機管理室
問3－①うなぎ

正解総数22通（応募総数23通）の中から抽選で、佐
藤友三さん（若宮1）、志水千美子さん（内山）、千原
みち子さん（川岸上2）、戸田綾子（川岸東1）、星野
和憲さん（川岸中3）にオリジナルスプーンをお送り
します。



問1 平成18年度予算の総額は〇〇〇億
7,716万円9千円。

答え ①334 ②443
③777

問2 4月15日から30日まで、出早雄小
萩神社で行われるお祭りは？

答え ①さくら祭り ②もみじ祭り
③かたくり祭り

問3 岡谷市市制施行70周年記念市民ツ
アー、〇〇〇〇州をめぐります。

答え ①ミシガン ②テキサス
③フロリダ

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号、ひと言を
書き、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所（住所不要）》ま
でお送りください。抽選で5名の方に武井武雄ラムラム王オリジナ
ルスプーンをお送りします。4月20日の消印まで有効。（ひと言は
15日号「みんなの声」に掲載させていただく場合があります）

ここに守る人あり
暖かな大空間
長い寒さも一段落し、近所の園児の声
も春を感じさせてくれます。今年は桜の
開花も早く、月半ばと報じられて、チョ
ッピリうれしくなる今日この頃です。
4月といえば、今大きく振り返って、
70年前（昭和11年）全国的にも珍しい村
（平野村）から一足飛びに岡谷市が発足。
同時に初代釜口水門も完成。岡谷発展の
原動力ともなった年でもありました。
世の中の流れが早まって、日々の暮ら
しの中で自然が恋しくなり、気分転換の
意味も込めて、今回は「日本の音風景100
選」に入っている塩嶺小鳥の森について
コーディネーターの林正敏さんにお話を
伺いました。
塩嶺小鳥の森には県内外、年間3千人
の人たちが訪れているそうです。親子の

市民しポーター だより

宮坂槇三さんの
おかやよいとこ探し パート 41

塩嶺小鳥の森

小鳥の森コーディネーター
はやし まさとし
林 正敏 さん



市民レポーター みやさか まきぞう
宮坂 槇三 さん

コミュニケーションの場であり、鳥の標
本をじっくり観察し、自分と対話してい
る姿、また、熱心に質問してくる人々を
見ていると自分が元気をもらっている
と話されました。

森は大きな気を持っていて、鳥たちも
人間も大きく包んでくれると、私なりに
感じました。

その他様々の事柄を聞きましたが、紙
面の関係上割愛させていただきました。

お互い体に気をつけて、春をおおいに
楽しみましょう。

夢を追う

この花あゝ鳥

春笑う

※鳥のことについては市図書館にもコー
ナーがあるので参考まで

※小鳥の森の詳しい案内は商業観光課へ



「双方向の授業を」

わた うち ま ゆ み
綿内真由美さん
(長地御所2)

長野市出身で、岡谷南高校で先生をされている綿内真由美さん。

Q 岡谷の印象は？
A 寒いですね！それから、男子は比較的にのんびりやさん、女子は芯が強いなあと感じました。

Q 教科は何ですか？
A 専門は倫理なんですけど、昨年度は現代社会を受け持ちました。倫理は「愛」や「人生」など普遍的なことを扱いますが、現代社会では時事問題など毎日変わっていくことが教材です。教える立場に立って、より真剣に考えるようになりましたね。社会科は、社会に出たときに一番役に立つと思うんです。ですから、できるだけ

身近な話題で生徒自身に考えさせるようにしています。

Q 教師になったきっかけは？
A 大学院のとき、女子高で倫理の非常勤講師をしたんです。生徒に「愛とは何か」と投げかけると「私はこう思う」と、さまざまな答えが返ってきたんです。教えられる気がしました。この経験がきっかけで教師を志しました。

Q 今後の夢は？
A 「教員力」とでも言うんでしょうか、一方的でなく、双方向の授業を自分なりにデザインしていく力を付けたいですね。一生涯と関わって、いろんなことを一緒に考えていきたいと思っています。

「マオリ・ハーブ」

最近、日本のテレビでニュージーランドについての番組を見る機会が多くあります。日本に来てからもう6年ほど経ち、生まれ育てられた地のことに疎いと思うので、ニュージーランドやニュージーランド人がどのように描かれているか、このような番組を見て、よく知っていることを懐かしく思うと共に、新たなことを学ぶこともできます。

先日、見た番組では、ニュージーランドの先住民の食生活に欠かせない「マオリ・ハーブ」について色々と紹介されました。1000年ほど前にポリネシアから渡ってきたマオリ人は、自然と共に暮らし、森や山の恵みを「薬」や「食用」として利用していましたが、現在のニュージーランド料理にはあまり使用されていません。マオリ・ハーブは日本の山菜の風味に似ていて、

香りが強く、野生的な味をしています。

このハーブのひとつは、ニュージーランドのシンボルマークであるシダ（シルバー・ファーン）の新根「ピコピコ」というもので、日本のわらびに当たるものです。その他に、肉の保存料や胃腸薬などとして使用されていたハーブもあります。現在、日本でも人気が高まっている「マヌカ・ハニー」は、昔からマオリが薬として使用していた「マヌカの木」（ニュージーランドのティーツリー）からできたものです。昔は、マヌカの皮や葉は様々な病気を治療するために使用され、マヌカの花からできた「マヌカ・ハニー」は殺菌作用、抗炎症作用があり、創傷治癒や皮膚病の治療に欠かせない代替療法とも言えると思います。

この辺では、マオリ・ハーブはなかなか手に入りませんが、機会があれば、一度でも「マヌカ・ハニー」にトライすることをお勧めします。



国際交流員の
セーラ・アキレス です

No.18

主な内容

CONTENTS

- ・ 自家用自動車有償運送事業・貸渡事業(かしわたし)……………18
- ・ こども福祉教室参加者募集……………19
- ・ 平成18年度 主な事業……………20

みんなの福祉
みんなの未来
みんなで築く

自家用自動車有償運送事業 (車いす移送車有償運送事業)

本年3月まで、有償在宅福祉サービス事業の一環として、車いす利用者など、移動困難な人たちを対象にした移送サービス事業を実施してきましたが、4月からは、道路運送法第80条第1項の許可車両として、実施をすることになりました。これに伴い利用料等が変更となっています。

また、運転手は、移送サービス運転者研修の修了者があたり、有償運送車両であることを明示するマグネットシートを車両側面に掲示をしています。



利用料が変わりました

これまでの利用料

1時間まで 600円
+
交通費 1kmあたり 20円

4月1日からの利用料

岡谷市内 一律 550円
市外 550円
+
市外の区域 1kmあたり 30円

自家用自動車有償貸渡事業 (車いす移送車レンタカー事業)

従来実施をしてきた、車いす移送車貸出しサービス事業についても、道路運送法第80条第2項の許可車両として、実施をすることになりました。

利用料は、従来どおりです。

利用料

5km未満 100円
5km以上、5kmごとに100円が
加算となります。

福祉機器リサイクル事業

ご自宅に捨てるにはもったいない福祉機器はありませんか。必要な方に情報提供し、役立てていただきます。

対象品目 車いす・シルバーカー・歩行器 など
(新品または新品同様のものをお願いします)

差し上げます No.15 歩行器(新品同様) No.16 シルバーカー

申込み・問合せ 岡谷市社会福祉協議会 ☎24-2121 FAX 24-3555

「社協だよりゆめ」は共同募金の配分金で印刷されています

発行・編集

岡谷市社会福祉協議会
〒394-0081
岡谷市長地権現町
四丁目11番50号

☎ 24-2121

FAX 24-3555

ホームページアドレス

<http://www.okaya-shakyo.or.jp>

メールアドレス

info@okaya-shakyo.or.jp

平成18年度 こども福祉教室 参加者募集!

こども福祉教室は、「福祉の心を育てよう」を目的として、一年間様々な活動を通して、福祉に関心を持ってもらおうと毎年実施しています。

自然体験学習、奉仕活動、車いす・高齢者体験など様々な内容で、年間9回の予定です。



各小学校に募集チラシを配布しますので、参加をご希望の場合は、保護者の方が岡谷市社会福祉協議会へ申し込みをお願いします。
大勢のみなさんの参加をお待ちしています。

◆申込み・問合せ

岡谷市社会福祉協議会 ☎24-2121

参加できる人	小学校3～6年生
人 員	30人
参加費	年間2,000円 (保険含む)
活動日	土曜日、夏休み
時 間	午前9時～11時

災害救援ボランティア募集!!

いつどこでどんな災害が発生するかわかりません。被災地において災害救援ボランティアとして活動していただける方、登録をお願いします。個人登録、団体登録どちらも大歓迎です。

被災地でのボランティア活動は専門知識や技術が必要なものだけでなく、誰にでもできることがたくさんあります。たとえば清掃、片付け、炊き出し、救援物資の受け取りなどです。



問合せ 岡谷市社会福祉協議会 ☎24-2121 ☎24-3555



ふしぎな国の天使



～わが家の自閉症児～ No.6

伊藤 智子

毎日の生活の中で、雄輝独特の世界を見ることができます。それは自閉症の症状なのかもしれませんが、時に、家族もその世界に引き込まれてしまいます。

雄輝には兄と妹がいます。二人とも雄輝の自閉症を理解しているようですが、その特殊な障害により、何かとトラブルが絶えません。雄輝はおもちゃや、ゲームなどの音の出る機械が大好きです。兄妹の物でも、色々なスイッチを何度も押して結局壊してしまい、兄に何度も強く怒られるのですが、雄輝は、どうしても我慢できないのです。そのつど、みんなで雄輝のことを一生懸命考えて解決しようと協力しあいます。今日まで雄輝が元気に成長してこられたのも、兄妹の協力が無ければ難しかったと思います。

たくさんのこだわりや、障害ゆえのトラブルは数えきれません、でも、外から帰ってきて、「靴をそろえなさい」と言われると、兄と妹の分まできちんとそろえてくれます。

二人ともその不思議な世界を持つ雄輝が大好きで、彼を中心に家族が一致団結してがんばって来ましたが、これからは地域の福祉サービスを利用し、色々な方々の協力を得ながら成長を見守りたいと思っています。自閉症について理解していただきたいと、雄輝のことを書かせていただきましたが、今回で最終章とさせていただきます。ありがとうございました。

まだまだ、理解されていない自閉症（自閉症には共通した障害特徴がありますが、その特徴の現れ方には個人差があります）についてできるだけ多くの方に知っていただき、自閉症の方が自然に受け入れられる社会になることを願っています。



◀TVドラマでも放映された
「光とともに・・・」戸部けいこ作
自閉症児を抱えた家族と自閉症児の
成長を描いてあります。ぜひ読んで
みてください。

地域福祉を推進する中核団体として地域が抱える様々な福祉問題を市民全体の問題として捉え、市民が主体的に参加、協働し、安心して生活できる福祉のまちづくりを積極的に推進します。

◆小地域福祉ネットワークづくり推進事業

- ・地区社協福祉ニーズ把握ネットワーク事業
(市内各町内に福祉推進員を設置)
- ・安否確認(目配り・気配り)事業
- ・地区地域福祉推進会議・福祉懇談会
- ・在宅福祉推進ネットワーク研修会
- ・友愛訪問・地区社協だよりの拡充

■指定管理者指定事業

- ◆岡谷市通園訓練施設「まゆみ園」の管理経営事業
心身障害児母子通園訓練の実施
- ◆おかや総合福祉センター管理経営事業
温泉施設・生涯学習施設貸し館業務等

■市委託事業の受託

- ◆ホームヘルプサービス事業
 - ・介護予防生活支援サービス(介護保険自立認定者対象)
 - ・重症化予防生活支援サービス(介護保険要支援以上対象)
- ◆産後ママサポート事業
- ◆生きがいデイサービス事業
- ◆障害者地域生活支援事業
 - ・手話奉仕員養成事業
 - ・手話通訳事業
 - ・要約筆記奉仕員養成事業(パソコン)
 - ・声の広報発行事業
 - ・障害者IT講習事業
 - ・生活訓練事業
 - ・芸術・文化講座開催事業
 - ・スポーツ教室開催事業
 - ・スポーツ大会開催等
 - ・福祉機器リサイクル事業

■支援相談事業

- ◆各種相談窓口の開設
 - ・心配ごと相談(週5日)(新規事業)
 - ・結婚相談(毎週水曜日・第1・3土曜日)
 - ・ボランティア総合相談
 - ・介護相談

- ・金銭管理財産保全相談(新規事業)

◆ハートリーフ事業

- ◆低所得世帯、障害者世帯への福祉資金貸付事業
- ◆地域福祉権利擁護安心ネットワーク事業
- ◆金銭管理、財産保全サービス事業

■介護保険関連指定事業

- ◆居宅介護支援事業所(ケアプラン作成)
- ◆訪問介護事業所(ホームヘルプサービス)
- ◆障害者自立支援給付事業(ホームヘルプサービス)

■赤い羽根共同募金配分事業

- ◆地区社協の実施事業(ふれあい、助け合い、支えあい事業)への助成
- ◆社協だより「ゆめ」の発行(再掲)
- ◆岡谷市社会福祉大会開催(再掲)
- ◆社会福祉推進校事業(再掲)
- ◆ボランティアグループ等に対する地域福祉活動振興補助事業(再掲)
- ◆母子寡婦対策事業への助成(再掲)
- ◆地区主催「敬老事業」への助成
- ◆児童遊園地の新設、遊具等の整備に関する助成
- ◆罹災者に対する見舞い事業
- ◆歳末訪問慰労事業(市内民間福祉施設)並びに家庭介護者慰労事業(寝たきり高齢者等重度心身障害児の介護者)
- ◆各種福祉団体等への助成

■その他社会福祉推進事業

- ◆母子寡婦対策事業の助成と援護活動
- ◆岡谷市障害者福祉推進実行委員会による障害者福祉の推進
- ◆重度心身障害児「希望の旅事業」
(県・市・社協助成事業)
- ◆戦没者等家族に対する見舞い、交通災害遺児への激励事業
- ◆諏訪ブロック社会福祉協議会事業推進
- ◆各種福祉に関する集会、大会への参加支援

平成18年度岡谷市社会福祉協議会

■地区社会福祉協議会の充実と活動の推進

- ◆地区社会福祉協議会の組織基盤体制強化の支援
- ◆区社会福祉協議会の事業の支援
- ◆岡谷市地区社会福祉協議会会長会との連携強化
- ◆地区社協役員研修会の開催（新規事業）

■社会福祉協議会基盤整備

- ◆岡谷市地域福祉サービス事業推進による基盤強化
- ◆ボランティアセンターの基盤強化
- ◆自主財源の確保（会員の増強・福祉基金の充実）

■「地域福祉活動計画」に基づく市民総参加の福祉のまちづくり

計画の推進

- ・家庭、地域、事業所などで市民などの主体的、積極的な取り組みを促進するため、社協だよりやホームページへの掲載など、本計画の周知に努める。
- ・本計画を着実に推進していくために、実施状況の点検・評価を行う。また関係団体との懇談会を開催する等地域における実践に努める。
- ・市と協働し、地域福祉の推進と地域の中で福祉コミュニティ活動を推進している関係団体と連携を図る。

■岡谷市ボランティアセンター事業

- ◆啓発活動の推進
 - ・ボランティア祭りの開催（新規事業）
- ◆養成研修活動推進事業
 - ・社会福祉推進校事業の推進
 - ・ボランティア活動体験事業
 - ・市民・車いす疑似体験学習会
 - ・朗読ボランティア養成講座
 - ・手話奉仕員フォローアップ講座
 - ・点字講習会
 - ・ボランティアグループに対する地域福祉活動振興補助事業
 - ・こども福祉教室
 - ・企業ボランティア活動振興事業
 - ・ガイドヘルパースキルアップ講習会（新規事業）
- ◆有償在宅福祉サービス事業
 - ・家事援助サービス
 - ・保育サービス

主な事業

- ◆ボランティア登録、^{あつせん}幹旋、相談事業
- ◆基盤強化事業
 - ・おかやボランティア連絡協議会との連携、強化
- ◆災害救援活動体制づくり
 - ・ボランティアコーディネーターの養成
 - ・災害ボランティアの事前登録

■岡谷市地域福祉サービス事業

- ◆地域サポートセンター設置促進体制整備事業
 - ・人材養成講座修了者フォローアップ事業
 - ・過去5年間の地域福祉活動人材養成研修会受講修了者を対象
 - ・地域サポートセンター設置および事業・活動に対する地域福祉活動振興補助事業
- ◆意識啓発推進事業
 - ・岡谷市社会福祉大会の開催
 - ・社協だより「ゆめ」の発行
 - ・福祉ビデオ、フィルムの貸し出し
 - ・各種情報・資料の収集提供
- ◆生きがいづくり推進事業
 - ・生きがいデイサービス事業を通じて、高齢者の引きこもり防止、ひとり暮らし高齢者の孤独感や疎外感を解消する等、生きがいを持って地域で暮らせる支援事業の推進
- ◆福祉学習推進事業
- ◆ふれあい、助け合い、支えあいの福祉のまちづくり推進事業
 - ・ふれあいの仲間づくり事業（会食会・配食会・ミニデイクア・配湯サービス）
 - ・青少年ふれあい育成、高齢者と児童の交流事業
 - ・ふれあいいきいきサロン事業
 - ・家庭介護者の集い事業（新規事業）
 - ・支えあい、助け合い活動
 - ・自家用自動車有償貸渡事業（車いす移送車レンタカー事業）（新規事業）
 - ・自家用自動車有償運送事業（車いす移送車有償運送事業）（新規事業）
 - ・介護機器の貸与事業（介護保険適用外）